

(別紙様式)

【市実施分】学力調査結果の分析による具体的な取り組み 1年

日田市立東溪中学校

【1年国語】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 話し合いの内容の聞き取り。 2 小学校で学習した漢字を読むこと。 3 文章の内容を的確に押さえながら、要旨をとらえて読むこと。(説明的文章)	○ 報告会や紹介の活動、それらを聞いて質問や助言をする活動。 ○ 文章の中で漢字の読み書きを確認する活動。 ○ 目的や必要に応じて要約、また要旨をとらえる活動。	○ メモの取り方の工夫。 ○ 漢字小テストの実施。 ○ 説明的文章取扱時、要約を行う。	○ 副教材(漢字ノート)と漢字プリントを関連付けた計画的な課題。 ○ 教科書音読や段落分けの課題。 ○ 副教材(ワーク)の実践問題集としての活用。
市正答率全国比 106.0 本校正答率全国比 (105.8)		来年度 本校目標正答率全国比	(106.0)

【1年社会】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 「地域の様子」 2 「日本の産業と国土の様子」 3 日本の歴史の流れをつかむこと	○ 地図帳の活用による視覚化を図る。 ○ 資料の読み取り、作成から考察させる。 ○ 時間のつながりを常に確認させる。	○ 定期的に確認テストを行う。 ○ 小学校での学習事項を振り返る内容をテストに含ませる。	○ 作業的な課題 ○ 地図を活用する宿題
市正答率全国比 96.5 本校正答率全国比 (104.2)		来年度 本校目標正答率全国比	(105)

【1年数学】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 分数を利用した応用問題。 2 数量の関係を文字と式で表すこと。 3 割合を使った数量関係の問題。	○ 課題やポイントを明確にし、ドリル学習を充実させ、学習内容の定着を図る。	○ 既習事項の弱点分野に重点をおいたドリル学習に取り組む。 ○ 休日課題の継続と授業での解説等の時間の確保	○ 毎時間の授業の定着を図る宿題の提示。 ○ 休日課題の継続
市正答率全国比 100.5 本校正答率全国比 (107.3)		来年度 本校目標正答率全国比	(108.0)

【1年理科】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 「流れる水のはたらき、大地の変化」と「てこのはたらきとしくみ」は全国得点率を上回っており、「生物の1年間のようす」は下回っている。他の領域は、全国と同程度である。 2 偏差値分布を見ると、50点台と30点台の2カ所に山があり、学力差が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数で観察・実験を行うことで、全員に体験させる。 ・ なぜそうなるか理由を考えさせ、思考力を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理科ノートの問題やプリント等を使って、学習の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副教材（問題集）の活用。
市正答率全国比 98.6 本校正答率全国比 (102.7)		来年度 本校目標正答率全国比	(103)

【1年生活面】

課 題	具 体 的 な 対 策
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の時間（平日）が1時間未満の生徒が11.5%いるので、その生徒の学習時間の増加。 ○ 家庭学習で決めた時間に自分から始めることができていない生徒が53.8%いるので、自主・自律の確立。 ○ TVやゲームなど決めた時間を守ることができない生徒が53.8%いるので自主・自律の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題や毎日ノートの継続と内容の充実、家庭学習の記録の継続、未終了者の事後指導を行う。 ○ 生活時間の使い方の指導や保護者との連携を適時連絡や通信、学級PTAなどを利用して行う。 ○ ノーテレビデーやゲームの制限時間の設定を、再度調査、再設定を行うなどして生徒の励みとする。

【市実施分】 学力調査結果の分析による具体的な取り組み 2年

日田市立東溪中学校

【2年社会】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 世界と比べた日本 自然環境、人口 2 歴史の流れ 3 文化の移り変わり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習の知識や資料を関連付けて考え、発表させる場面の設定。 ○ 暗記すべき基礎的事項を確実に身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料からグラフの作成をさせるなど、見える化を徹底。 ○ 資料や地図帳から必要な情報を読み取る練習。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作業的な課題 ○ 授業内容復讐のための宿題 ○ 基礎的事項を確認する課題
市正答率全国比 100.0 本校正答率全国比 (129.2)		来年度 本校目標正答率全国比	(110)

【市実施分】 学力調査結果の分析による具体的な取り組み 3年

日田市立東溪中学校

【3年社会】

課 題	具 体 的 な 対 策		
1 地域の規模に応じた調査 2 近世の日本 3 近現代の日本と世界	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
	○公民的分野の内容の学習と関連付けながら、地方の特色や近世、近現代の歴史を中心に1・2年生の復習を取り入れる。	○単元の初めに、学習内容を既習事項や自分の経験と関連付けさせる。 ○定期的に確認問題をさせる。	○地理のまとめ、歴史のまとめなどの既習事項を再確認させる課題
市正答率全国比 100.2 本校正答率全国比 (109.6)		来年度	本校目標正答率全国比 (110)

【3年英語】

課 題	具 体 的 な 対 策		
・ 領域別では、「読むこと」が他の2領域に比べ低かったので強化していく必要がある。また問題別に分析すると、「書くこと」において、単語の並び替えによる英作文、及び状況にあった英作文の得点率が低かったので、強化して必要がある。	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書本文読解授業において TF, QA 問題に継続して取り組ませることにより、少しずつ「読み取る」力の向上を図る。 ・ 文法導入授業において、新文法を用いた文型の並び替え問題（英語のポイント活用）を必ず取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書本文読解の補助プリントを作成する。 ・ 定期考査で、教科書以外の長文読解問題を発展問題として出題し、所見の長文を解かせる。授業で解説をし、長文問題を解くポイントをつかませる。 ・ 定期考査で、並び替え問題や条件作文問題を出题する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新文型導入後、宿題として、新文型を用いた自己表現の英文を書かせる。英語のポイントの「ふりかえり」問題も活用する。 ・ 全校で行っている英検 WEEK の取り組みにおいて、長文問題や並び替え問題を解かせた後、家庭学習で復習させる。
市正答率全国比 89.9 本校正答率全国比 (104.4)		来年度	本校目標正答率全国比 (105)